

学習指導要領		都立成瀬高校 学カスタンダード
(4) 地球世界の到来	<p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>[ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思想・芸術・科学などの分野におけるルネサンスの歴史的な展開を理解する。 ・ドイツ・スイス・イギリスの宗教改革と対抗宗教改革の歴史的な展開を理解する。 ・ヨーロッパの主権国家体制の形成の歴史的な展開を理解する。 <p>[世界各地への進出と大西洋世界の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人による探検の事績を地図上で確認できるとともに、大航海時代の影響として商業革命と価格革命について理解する。 ・アジア市場におけるポルトガル・スペイン・オランダ・イギリス・フランス各国による覇権争いについて理解する。 ・アメリカにおける英仏の植民地争奪を理解する。 ・アメリカにおける砂糖やタバコのプランテーションにアフリカ系奴隷が労働力として使役された背景を理解する。 <p>[17～18世紀のヨーロッパ文化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験論、合理論、ドイツ観念論、自然法思想、啓蒙思想の各思想家の思想について理解する。 <p>[産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスで最初に産業革命が起こる背景について理解する。 ・産業資本主義体制の成立や社会問題を理解する。 <p>[フランス革命、アメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13植民地の形成からアメリカ独立革命にいたる歴史的な展開を、国際関係と関連づけながら理解する。 ・フランス革命の歴史的な展開を、革命を主導する社会層の変化に着目しながら理解する。 ・ナポレオンの国内政策と征服活動について理解する。 ・ラテンアメリカ諸国の独立の歴史的展開を理解する。

学習指導要領	都立成瀬高校 学カスタンダード
<p>エ 世界市場の形成と日本</p> <p>世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とその中で日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>[19世紀のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制の成立から動揺・崩壊の過程を理解する。 ・1848年にヨーロッパ各地で起こった一連の革命・民族運動の経緯を理解する。 ・東方問題とロシアの南下政策、ロシアの改革について理解する。 ・イタリアとドイツの統一運動の過程を理解するとともに、ビスマルク外交のねらいと内容を理解する。 ・アメリカ合衆国の領土拡大の過程や南北戦争後の経済的発展について理解する。 <p>[世界市場の形成とヨーロッパ諸国のアジア進出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的分業体制におけるアジア諸国の位置付けについて理解する。 <p>[オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジアにおいてワッハーブ派やウラービー運動、バーブ運動に見られるイスラーム改革運動やアラブ民族運動が起きたことについて理解する。 ・インドの植民地化を進める中で、イギリス東アジア会社の性格が変化していったことを理解する。 ・東南アジア諸地域でヨーロッパ諸国が大規模なプランテーション経営を展開したこととその影響を理解する。 ・アヘン戦争に至るイギリスの対中国貿易政策の変化、南京条約・北京条約の内容について理解する。 ・太平天国の運動の民族主義的性格について理解するとともに、その後に展開された洋務運動の限界について理解する。 ・明治維新により近代化を進めた日本の対外政策について理解する。

学習指導要領	都立成瀬高校 学カスタンダード
<p>(5) 科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>[科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第一次)産業革命と比較して、第二次産業革命の特質を理解するとともに、第二次産業革命の結果、市場を独占した巨大企業の諸形態と、その特色について理解する。 <p>[帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米各国の帝国主義政策と国内政策を理解するとともに、欧米諸国間の世界分割競争の経緯と結果を理解する。 ・欧米諸国の支配が強まる中で起きた、辛亥革命、国民会議派の形成、ドンズー運動、青年トルコ革命、イラン立憲革命などの近代化を目指した運動の経緯を理解する。 ・日清戦争から日露戦争に至る経緯について、日本とロシアの対立の背景から理解する。 <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界規模での移民が増加した背景を理解する。 <p>[第一次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の歴史的な展開を理解する。 <p>[ロシア革命とソヴィエト連邦の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対ソ干渉戦争とソヴィエト政権の経済政策について理解する。 <p>[大衆社会の出現とファシズム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ・ワシントン体制下で進んだ国際協調の流れを理解する。 ・1920年代のアメリカ合衆国の「永遠の繁栄」と呼ばれた政治・経済の成熟を理解する。

学習指導要領	都立成瀬高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアでムッソリーニが一党独裁体制を確立していった過程を理解する。 ・ソヴィエト連邦でスターリンが一国社会主義論を唱え、独裁権を握っていった過程を理解する。 <p>[第一次世界大戦後のアジア・アフリカの情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国における国民党と共産党の対立、インドにおける国民会議派と全インド=ムスリム連盟の対立について理解する。 <p>[世界恐慌とその後の世界情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌による各国の経済的な打撃を具体的な指標から理解するとともに、アメリカ合衆国のニューディール政策の進展について理解する。 ・満州事変から日中戦争に至る過程やナチス=ドイツが独裁権を確立していった過程を理解する。 ・スターリンの独裁体制が確立していった時期のソヴィエト連邦の外交政策について理解する。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン内戦から第二次世界大戦勃発前までのヨーロッパの国際情勢について理解する。 ・ヨーロッパにおけるドイツの、アジア・太平洋地域における日本の勢力拡大を地図上で理解する。 ・第二次世界大戦中に行われた首脳会談の内容について理解する。

学習指導要領		都立成瀬高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史の扉</p> <p>自然環境と人類のかかわり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と人類のかかわり 自然環境と人類のかかわりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。</p> <p>ウ 日常生活にみる世界の歴史 日常生活にみる世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史がとらえられることに気付かせる。</p> <p>人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</p> <p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>地理的知識と複合して、歴史の大きな流れを理解することができる。</p> <p>自然環境というテーマを通して、歴史的事例を知り、地理的視点をもつことができる。</p> <p>日本と諸地域の接触・交流にかかわる事例を知り、世界史の中に日本史も位置づけられているという視点をもつことができる。</p> <p>砂糖や紅茶などの生産物を事例として、交易による世界規模のつながりを理解し、長期的な社会変化という視点をもつことができる。</p> <p>多角的視点をもって地理的知識を背景にした歴史的变化を理解することができる。</p> <p>メソポタミア文明、エジプト文明を事例に、古代文明における文化を知る。 ギリシアのアテネを事例に、社会における身分階級の発生理由と参政権の拡大経緯を知る。 キリスト教教義とユダヤ教教義の因果関係を理解し、キリスト教の成立経緯を理解する。 帝政ローマの中でキリスト教が受け入れられ国教化する経緯を事例に、皇帝権威の根拠と社会構造の関係を理解する。</p>	

学習指導要領		都立成瀬高校 学カスタンダード
<p>(3) 諸地域世界の結合と変容</p>	<p>イ 南アジア世界・東南アジア世界 南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界 東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>エ 時間軸からみる諸地域世界 主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大 アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p>	<p>インダス川流域の自然環境とインダス文明の概要を知る</p> <p>代表的な王朝変遷を知る。 周王朝の封建制を事例として、土地の所有と権力構造の関係を理解する。 「尊王攘夷」や「四面楚歌」などの熟語の由来を、中国史の流れと関連させて知る。 『史記』の成立を事例に、歴史学と記録の関係を理解するとともに、史料批判の視点を学ぶ。 「金印」「遣唐使」などを事例にして、中国大陸と日本の交流と、その日本史への影響を知る。 『大唐西域記』『南海寄帰内法伝』『製紙法』の伝播などを事例に、東アジア世界の広がりを理解する。</p> <p>世紀ごとの勢力図をとおして、それぞれの地域の変遷を連続的にとらえる視点をもつことができる。</p> <p>陸路や海路のそれぞれで取引された商品を事例に、交易と交流の視点をもつことができる。</p> <p>イスラームの成立過程を事例に、スンナ派とシーア派の思想的違いが、現代社会の問題にどのように関連しているのか、多角的に考察する。 イスラームの伝播を通して、ユーラシア大陸の地理を反復的に学習する。</p>

学習指導要領		都立成瀬高校 学カスタンダード
(4) 地球世界の到来	<p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p>	<p>封建社会の成立と変動を事例に、階級社会の様相と王権の変容を学ぶ。 神聖ローマ帝国皇帝とローマ教皇の対立を事例として、政治的権威と宗教的権威の相違や、社会に対する影響を多角的に考察する。</p>
	<p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。</p>	<p>宋と北方遊牧騎馬民族の抗争を事例に、北方遊牧騎馬民族の生活や文化を知る。 『三大陸周遊記』『世界の記述』を事例に、諸地域世界の交流の様相を知り、後の大航海時代へ知識をつなげる。</p>
	<p>エ 空間軸からみる諸地域世界 同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>	<p>地域ごとの変遷を理解するとともに、同時代的な関連性に気付き、一地域の社会変化が世界全体に波及する様相を“世界の一体化”としてとらえる視点をもつことができる。</p>
	<p>アジアの反映とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p> <p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>定期テストなどを通して、因果関係を文章として表現することができる。</p> <p>「朱子学」「六部」「魚鱗図冊」「賦役黄冊」などを通して、中央集権国家体制を形成するために行われる思想統制や社会制度について理解する。 「朝貢貿易」を通して宗主国と属国の関係を知り、中華思想を軸とした東アジア世界の概念を理解する。 また、清仏戦争や日清戦争を後に学ぶ際の知識とし</p>

学習指導要領	都立成瀬高校 学カスタンダード
<p>オ 資料からよみとく歴史の世界</p> <p>主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。</p> <p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ウ 米ソ冷戦と第三世界</p> <p>米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p> <p>エ グローバル化した世界と日本</p> <p>市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p>	<p>てつなげる。</p> <p>「満漢併用」「辮髪」「文字の獄」などの事例を通して、少数民族による支配の工夫や、思想統制について多角的に理解をする。</p> <p>図版や史料を読み取り多角的に考察し表現することができる。</p> <p>国際協調と国益などの観点から、主要国の国際関係を整理しつつ、現代社会につながる課題を理解することができる。</p> <p>米ソの社会的、経済的思想の違いを理解し、戦後復興の中で、どのように世界に影響を与えたのか理解する。</p> <p>各地域の社会問題や紛争を具体的に数例とりあげ、これまでの歴史的事項と関連付けながら、多角的な視点で理解することができる。</p>

学習指導要領	都立成瀬高校 学カスタンダード
<p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題</p> <p>地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>世界の中で日本の在り方を考え、共存できる持続可能な社会について多角的な視点で考えられる知識と思考力をつける。</p>